

授業者	竹本 亮	日時・指導学級	11月1日(木) 3時間目 3年4組
教科	道徳	題材	まじめの基準
【授業の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> まじめさはその行為で判断するのではなく、心がこもっているかどうか大切に考え方で自分の行いを判断する態度を育てる。 			
【授業の工夫】			
<ul style="list-style-type: none"> 意見交流をするために、グループ内でワークシートを回し、それぞれの意見に対して思ったことや感想を書き込む時間を設ける。 友達に自分のまじめなところを付せんに書いてもらう時間を設ける 自分のまじめさを授業の始めと終わりに聞くことで、まじめに対する考えの変容を見られるようにする。 			
【授業の様子・生徒の変容】			
<ul style="list-style-type: none"> グループ活動の場面では、相手の意見に対して思ったことを書き込むことで、他者の考えを参考にし、自分の考えを深めようとする姿が見られた。 付せんに書いてもらうことで、自分の意識していない部分にも気づくことができ、自己肯定感を高めることができた。 授業のはじめと終わりで自分のまじめさが上がる生徒が多かった。 			
【教師の振り返り】			
<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを回して意見を記入する場面では、友達のことを真剣に読み、自分の考えと比較しながら考えを記入する姿を見ることができた。 内容を詰め込みすぎてしまったため、それぞれのつながりが薄れてしまった。教師の質問を厳選すれば、もっと意見を深める姿が見られると思われる。 			



授業の最後に、付せんを使い自分のまじめな点を記入してもらったことで、いろいろなまじめに気付けたとともに、自己肯定感を高めることができた。認め合いにもつながった。

↓

利他共生